

第 2 回 横浜市港北区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和 7 年 4 月 16 日（水） 午前 9 時 50 分から 11 時 30 分まで
開 催 場 所	港北区役所 3 階 3 号会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 西田 ちゆき（法政大学現代福祉学部兼任講師）</p> <p>委員 大森 幹雄（港北区保健活動推進員会会長）</p> <p>坂田 裕子（税理士）</p> <p>竹崎 理浩（港北区連合町内会代表者）</p> <p>中原 圭介（港北事業者連絡会ガンバ港北会長（ケアマネ部会））</p> <p>【事務局】</p> <p>港北区福祉保健課長 郷原 寛史</p> <p>港北区福祉保健課事業企画担当係長 吉田 哲朗</p> <p>港北区福祉保健課事業企画担当 丸山 希和子</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
議 題	<p>1 事前確認事項</p> <p>2 申請団体の面接審査</p> <p>（1）申請団体の面接審査</p> <p>（2）本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>3 指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）の選定、講評</p>
決 定 事 項	<p>指定候補者として、次のとおり、横浜市港北区長に報告することとする。</p> <p>○ 横浜市港北区福祉保健活動拠点の指定候補者</p> <p>社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会</p>
議 事	<p><u>1 申請団体による面接審査</u></p> <p>（1）事前確認事項</p> <p>事務局から、社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告するとともに、次の 3 点について確認した。</p> <p>○委員会の公開・非公開</p> <p>非公開とすることを確認。（第 1 回委員会で審議済み）</p> <p>○面接審査の進め方及び質問項目の確認（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 <p>○申請団体の資格要件等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ・欠格事由に該当しないことを報告。 <p>(2)面接審査</p> <p>ア プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>イ 主な質疑応答</p> <p>(委員) 職員が高いモチベーションを保っていくために、工夫していることはあるか。</p> <p>(団体) 地域に出ることを重視している。地域と繋がりができることが職員の喜びになり、モチベーションに繋がっていると考えている。</p> <p>(委員) 人員が足りているのか。</p> <p>(団体) 十分とは言えないかもしれないが、業務が大変な時には業務量を調整するなど、職員のマネジメントをして対応していく。</p> <p>(委員) ボランティアについて。65歳まで働く人が増えたことで、ボランティアを確保することが難しいのではないか。</p> <p>(団体) 地区社会福祉協議会とともに担い手確保の取組を実施している。 依頼する内容や時間が決まっているものは、手を挙げてくれる人が多い傾向にある。 課題としては、後継者の育成で、組織を中心になって運営していけるような人がなかなか見つからないことがある。</p> <p>(3)本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>事務局より本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況について説明。</p> <p>事務局より前期実績報告書について説明。</p> <p>坂田委員より財務分析結果報告書について説明。</p> <p>2 指定候補者の選定、講評</p> <p>申請者から提出された申請書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。</p>
--	---

	横浜市港北区福祉保健活動拠点		
		申請団体	評価得点／満点
	指定候補者	社会福祉法人 横浜市港北区社会 福祉協議会	893／1150 点
			最低制限基準 得点／基準点
			835／630 点
	<p>(審査講評)</p> <p>(1) 良かったところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健活動拠点は、「拠点」ということで、デスクワークや机上論になりがちだと思うが、外の現場に伺っている様子が見えたことは高評価である。 ・職員が異動するまでの在籍期間が基本的には7年間であると聞いた。地域と顔が見える関係づくりを行うには良いことだと思う。 ・貸館の稼働率63%目標であり、頑張っていると感じた。 <p>(2) 今後に期待するところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への取組について、子ども食堂や子育ての悩みなど、もう少しお話を聞きたかった。 ・ボランティア活動では、福祉保健活動拠点以外のところでの活動との連携に課題を感じた。ボランティアをやりたい人と、求めている人のギャップを埋めてほしい。 <p>申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。</p>		
資 料 ・ 特 記 事 項	<p>1 資料</p> <p>(1) タイムスケジュール</p> <p>(2) 市税納付状況確認の照会結果</p> <p>(3) 団体役員等の照会結果</p> <p>(4) 審査票</p> <p>2 特記事項</p> <p>特になし</p>		